

第5学年 社会科・総合的な学習の時間 学習構想案

菊池市立泗水西小学校 教諭 大溝 謙二郎

1 単元構想

単元名	「これからの食料生産とわたしたち」		
単元の目標	<p>(1) 我が国の農業や水産業における食料生産について、食料自給率や輸入など外国との関わりなどを調べ、食の安全・安心の確保、持続可能な食料生産・食料確保が重要な課題であることや、食料自給率を上げることが大切であることを理解することができる。</p> <p>(2) 食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取り組みなどに着目して、食料生産の課題を捉え、これからの農業や水産業の発展について、消費者や生産者の立場などから多角的に考え、表現することができる。</p> <p>(3) これからの食料生産について、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする態度を養う。</p>		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p>①食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取り組みなどについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の課題を理解している。</p> <p>②調べたことを図や文などにまとめ、食の安全・安心の確保、持続可能な食料生産・食料確保が重要であることや、食料自給率を上げることが大切であることを理解している。</p>	<p>①食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取り組みなどに着目して、問いを見出し、食料生産の課題について考え表現している。</p> <p>②食料自給率と食生活の変化を関連付けたり、食料生産について学習してきたことを総合したりして食料生産の課題について考え、学習したことを基に、消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの農業や水産業の発展について考え表現している。</p>	<p>①これからの食料生産について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>②学習したことを基に、みんなが幸せになる食料生産のために大切にすべきことについて考えようとしている。</p>
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
持続可能な食料生産・食料確保のための多角的な視点をもって、一人の消費者として考えようとする児童			
単元を通した学習課題		本単元で働かせる見方・考え方	
みんなにとって幸せな食料生産のために、私が大切にすべきことは何だろう？		消費と生産の相互関係に着目して、持続可能な食料生産の取組について比較・分類したり、私たちの生活と関連付けたりすること。	
指導計画と評価計画（8時間取扱い）			
過程	時間	学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面での「具体的評価規準」
課題発見	2	<p>○農業や水産業の学習を振り返り、世界の食料生産の課題について知る活動をとおして、単元の学習課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 働く人が減ってきていることが課題だったね。 日本で作られている食べ物ってこんなに少ないんだ。 8億人もの人が十分に食べられていないなんて。 日本の食料確保のことだけ考えていいのかな。 	<p>★【態－①】（方法：発言・ワークシート）</p> <p>○学習課題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しを持とうとしている。</p>
		<p>【単元のゴール】 みんなにとって幸せな食料生産のために、私が大切にすべきことは何だろう</p> <p>○学習課題に対する予想を考え、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> まずは日本の食料生産の課題を調べよう。 世界にはどんな食料問題があるのかな。 	

課題追究	4	<p>日本の食料生産には、どのような課題があり、今後食料生産をどのように進めたらよいか。</p> <p>○以下の視点について、自分が関心があることを教科書や資料集などを使ったり専門家に話を聞いたりして調べる。</p> <p>①食生活の変化が食料生産に与えている影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・50年前に比べて食べているものが変わっているし、食べ物を輸入する量も増えてきているね。 ・世界では食料が足りていないのに、食べ物を捨てているのか。私も給食残したことがあるな。 <p>②食の安全・安心に対する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅で農家さんの写真が貼ってあるの見たよ。知っている人が作っていると安心だよな。 ・田中さんたちのおかげで私たちは安心してご飯を食べることができるんだ。 ・輸入された食べ物も検疫所でちゃんと検査されているから安心できるね。(心配な人もいる) <p>③安定した食料確保のために大切なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消に取り組むことが食料自給率を上げることにつながるね。 ・買い物するときに、産地がどこなのかも気にするようにしようと思う。 ・地元の農作物を買うことが生産者を応援することになるんだな。 ・日本の食料を確保するだけでいいのかな。 <p>④新しい食料生産の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産資源を取りすぎないことは安定した食料の確保につながるな。 ・日本の価値の高い食料を海外に輸出することもできるね。 ・やっぱり食料自給率を上げるための取組が必要だと思うな。 ・今度は世界の食料問題についても考えよう。 <p>○調べて分かったことや考えたことを共有する。</p>	<p>【知-①】(方法:観察・ワークシート)</p> <p>★【知-②】(方法:発言・ワークシート)</p> <p>○調べたことを、適切な写真や資料を使って、相手に伝わりやすいように表現している。</p> <p>【思-①】(方法:発言・ワークシート)</p>
	課題解決・新たな課題	2	<p>○食料生産と地球温暖化のつながりや食品ロスについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化の原因になる二酸化炭素っていろんな生活の場面で排出されているんだ。 ・食料生産において、どんな場面で二酸化炭素が排出されているか考えてみよう。 ・食料を遠いところから運ぶとフードマイレージは多くなり、二酸化炭素の排出につながるよ。 ・こんなに多くの量を捨てている生活を見直さなければいけないな。 <p>※世界の食料生産の課題について、GTから話を聞く。</p> <p>○みんなが幸せである食料生産のために、私が大切にしたいことを考え、伝え合う。</p> <p>※『私のアクションウィーク』を設定して日常生活に生かす。</p>

2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等)				
<p>本単元は, 小学校学習指導要領第5学年の内容(2)にあたる。 「我が国の農業や水産業における食料生産について, 学習の問題を追究・解決する活動を通して, 食料生産が国民に果たす役割について理解し, 調べたことや考えたことを表現することができる。」</p>				
教材・題材の価値				
<p>本教材は, 食料自給率の重要性を捉え, これからの食料生産の在り方について考える学習である。多くの食料を輸入する一方で大量の「食品ロス」が発生していることをつかませ, 食生活のあり方を考えさせるきっかけにすることができる。また, 世界の食料生産と気候変動を結び付け, 持続可能なこれからの食料生産について考えるきっかけとなる教材である。</p>				
本単元における系統				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> 3年「はたらく人とわたしたちの暮らし」 生産販売などの仕事は地域の人々の生活と密接に関わっている </div>				
5年 「わたしたちの生活と食料生産」 我が国の食料生産のあり方について理解する	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 60%;"> 5年 「これからの食料生産とわたしたち」 これからの食料生産のあり方について考える </div>		5年 「わたしたちの生活と工業生産」 我が国の工業生産のあり方について理解する	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> 6年「世界の中の日本」 日本の社会は世界の様々な国と結び付き, その中で日本には国際的な役割がある </div>				
児童の実態(単元の目標につながる学びの実態)				
<p>■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況(人)</p>				
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
調査活動や地図などの具体的資料を通して, 必要な情報をまとめることができる。	2	3	6	0
調査活動などを通して, 考えたことや選択・判断したことを表現することができる。	2	5	4	0
学習したことを自分たちの生活に生かそうとしている。	2	7	2	0
<p>■本単元の学習に関する意識の状況(人)</p>				
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
授業の始めに, 学習の見通しを持ち, 自分の考えを持っているか。	2	4	4	1
今まで勉強したことを使って, 新しい問題を解いているか。	4	5	1	1
友だちの考えと自分の考えを比べて, 聞いたり, 発言したりしているか。	7	0	4	0
<p>■考察</p> <p>児童は, これまで農業や水産業について資料をもとに調べる学習活動に取り組んできた経験がある。学習課題に対して意欲的に取り組む反面, 実態調査から「具体的資料を通して, 必要な情報をまとめることができない・あまりできない」と回答した児童が6名いることが分かった。扱う資料を絞ったり, 資料から必要な情報を選択できるように視点を持たせたりする手立てが必要である。「考えたことや選択・判断したことを表現することができる」について肯定的に回答した児童は半数を上回った。表現できている児童をモデルとして取り上げていきたい。また, 学習したことと自分たちの生活に生かそうとしている児童は多い。今後も学習の意義を感じられるような単元を継続的に構想していく必要がある。主体的・対話的な学びの視点から学びの状況を見ると, 既習事項の活用という点では意識が高いが, 見通しを持つこと, 自分の考えと他者の考えを比較したり, 関連付けたりすることについてはあまりできていないことが分かる。食料生産は, 児童の生活と密接に結びついている問題である。生活経験を活用するなどして, 単元の導入で学習の目的意識を高めることができるようにしたい。また, 他者の考えと自己の考えが構造的に結びつくような手立てを講じ, 協働的に学ぶ意義を感じさせていきたい。</p>				

3 指導に当たっての留意点

- 単元を通じた学習課題を自分事して捉えられるために、単元の導入では、食料自給率の低下が自分たちの生活に直接結びつくことを理解できるような資料や問いを準備しておく。
- 単元の導入で、世界の食料問題に関する資料を提示することで、日本だけでなく、世界の食料生産にも目を向けて単元の学習を進めることができるようにする。
- ゲストティーチャーから直接話を聞く機会を設定し、学びを実感できるようにする。
- 日本の食料生産について調べる活動の際には、課題に対応する資料や資料の見方などを載せた学びの手引きをクラウド上に格納しておくことで、児童の資料活用の手助けとなるようにする。
- 学ぶ内容や学び方を児童が自己選択・決定できる機会を単元内に設定し、児童の自己有用感の向上に努める。(人権が尊重される授業づくりの視点)

4 ESD との関連

(1) 本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

- 有限性…当たり前にあると感じている食は、実は限られている。
- 公平性…日本の食料問題さえ解決すればいいというわけではない。
- 責任性…消費者として、持続可能な食料確保のために考えて食品を消費する必要がある。

(2) 本学習で育てたい ESD の資質・能力

- 物事を総合的にとらえる力
消費者としての選択が、持続可能な食料生産につながる。

(3) この学習を通して育てたい ESD の価値観

- 世代内の公正
自分の国だけでなく、食料を世界中で分け合うという考え方。
- 自然環境、生態系の保全を重視する
気候変動を防ぐために自分たちの生活を見直すことが必要。

(4) 関連する SDG s

2 飢餓

1 2 持続可能な消費と生産